

---

# ゲマインシャフトの世界観が結婚、特に披露宴という経済行動に与える影響

---

慶應義塾大学 経済学部

大垣昌夫研究会

奥山三喜 上妻美穂 佐々木裕貴子 谷沙織

2011年3月1日

## 概要

ここ数年の間で「婚活」という言葉が当たり前のように使われ、一つのブームをまきおこした。婚活により結婚そのものがかつてないほどの脚光を浴びているような印象を受けないだろうか？しかし、過去にもバブル期の「ハデ婚」、バブル崩壊後の「地味婚」といった言葉に見られるように結婚は時代によって変化してきた。このように、結婚という儀式と日本の経済状況の変化には、何らかの関係を見出すことができるだろう。そして、結婚様式の変化の根底にある日本人の世界観の変化と経済状況のそれには、相関関係が存在すると考える。我々は、旧来の日本人の世界観には強く表れていた、地縁・血縁関係を重視するゲマインシャフトの世界観の強弱が、結婚という儀式に何らかの影響を与えているという仮説を検証することを研究の目的とした。また、この仮説を裏返し、世界観の変化と経済状況の変化の関係をみることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、提案してゆくことができると考える。

我々は仮説を裏証する為にアンケート方法を用いた。調査ツールとして Web 上のアンケート作成ツールを使用し、大学生を対象にしてアンケートの回答を集めた。そして得られた回答を基にプロビット分析をし、相関関係の有意性を確認し、仮説裏証に成功した。

# ゲメインシャフトの世界観が結婚、特に披露宴という経済行動に与える影響

慶應義塾大学 経済学部

大垣昌夫研究会

奥山三喜 上妻美穂 佐々木裕貴子 谷沙織

2011年3月1日

## 概要

ここ数年の間で「婚活」という言葉が当たり前のように使われ、一つのブームをまきおこした。婚活により結婚そのものがかつてないほどの脚光を浴びているような印象を受けないだろうか?しかし、過去にもバブル期の「ハデ婚」、バブル崩壊後の「地味婚」といった言葉に見られるように結婚は時代によって変化してきた。このように、結婚という儀式と日本の経済状況の変化には、何らかの関係を見出すことができるだろう。そして、結婚様式の変化の根底にある日本人の世界観の変化と経済状況のそれには、相関関係が存在すると思われる。我々は、旧来の日本人の世界観には強く表れていた、地縁・血縁関係を重視するゲメインシャフトの世界観の強弱が、結婚という儀式に何らかの影響を与えているという仮説を検証することを研究の目的とした。また、この仮説を実証し、世界観の変化と経済状況の変化の関係をみることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、提案してゆくことができると考える。我々は仮説を実証する為にアンケート方法を用いた。調査ツールとして Web 上のアンケート作成ツールを使用し、大学生を対象にしてアンケートの回答を集めた。そして得られた回答を基にプロビット分析をし、相関関係の有意性を確認し、仮説実証に成功した。

## 1. 序論

従来の経済学では経済主体を無限の計算能力をもち自身の効用最大化を目的として経済行動を行う、超合理的な経済人（ホモエコノミクス）とし、そのうえでモデル構築を行い経済行動を説明してきた。しかし、現実には経済人のような人間は存在しておらず、現実とモデルの間でギャップが指摘されることがあった。そこで、行動経済学は実際の人間による経済実験やアンケート調査を用いて、経済人の仮定のもとでは説明できなかった経済行動が現実にあることを証明してきた。

私たちは行動経済学の立場から、「経済行動に与える世界観の影響」についての研究を行ってきた。世界観とはひとのモノの見方や考え方のことをいう。我々は生まれたときから文化・慣習、宗教、教育といったものにさらされており、各々が異なる世界観を形成しており、世界観に基づいて行動が決定されていると考えられる。ある経済主体の持つ世界観が経済行動に影響を及ぼしその行動が経済人のそれとはかけ離れていることを裏証することができれば、従来の経済学に疑問を呈し、新たな経済行動の可能性を提示することができるであろう。

そこで私たちは「ゲマインシャフト（注1）という世界観の強弱が結婚（特に披露宴）という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」というトピックを設定した。

（注1：ゲマインシャフトとは共同体の意味のドイツ語。地縁、血縁などにより自然発生した社会集団のこと。）

では、なぜ私たちが「結婚」と「ゲマインシャフト」に注目したのかについて説明する。現在就職活動を行う中で「ワークライフバランス」について考える機会がよくある。女性である私たち自身が人生設計を考える際に出てくるキーワードの一つに結婚があげられる。また、昨今の「婚活」ブームにより結婚そのものに対する関心が高まっている印象を受け、ゆえに、私たちは結婚というものに関心を寄せた。そして、婚姻形態や初婚年齢などの結婚にまつわる様々なトピックの中でも、とくに儀式に注目する。結婚式そのものは一連の流れが固定化しているが、披露宴は自由がきくので、披露宴には個人の世界観が反映されるであろうと考え、世界観が披露宴に与える影響を調査することにした。次に、「ゲマインシャフト」に注目した理由を説明する。私たちがウェディング会社へ実際の結婚式や披露宴について聞き取り調査を行った際に、かつては家同士のものであった結婚が、当事者間のものへと移行している傾向にあるというお話を伺った。こうした現象の背景にあるのは地縁や血縁の結びつきが弱まりであると考え、ゲマインシャフト的な世界観の与える影響について調査することにした。

次に、「ゲマインシャフトという世界観の強弱が結婚（特に披露宴）という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」という研究トピックの重要性について述べる。まず、研究そのものの意義について説明する。この研究は「ゲマインシャフト的な世界観」と「結婚という儀式」の間にどの程度の相関関係があるかを調査するものである。社会学

## 1.序論

従来の経済学では経済主体を無限の計算能力をもち自身の効用最大化を目的として経済行動を行う、超合理的な経済人(ホモエコノミクス)とし、そのうえでモデル構築を行い経済行動を説明してきた。しかし、現実には経済人のような人間は存在しておらず、現実とモデルの間でギャップが指摘されることがあった。そこで、行動経済学は実際の人間による経済実験やアンケート調査を用いて、経済人の仮定のもとでは説明できなかった経済行動が現実にあることを証明してきた。

私たちは行動経済学の立場から、「経済行動に与える世界観の影響」についての研究を行ってきた。世界観とはひとのモノの見方や考え方のことをいう。我々は生まれたときから文化・慣習、宗教、教育といったものにさらされており、各々が異なる世界観を形成しており、世界観に基づいて行動が決定されていると考えられる。ある経済主体の持つ世界観が経済行動に影響を及ぼしその行動が経済人のそれとはかけ離れていることを実証することができれば、従来の経済学に疑問を呈し、新たな経済行動の可能性を提示することができるであろう。

そこで私たちは「ゲマインシャフト(注1)という世界観の強弱が結婚(特に披露宴)という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」というトピックを設定した。

(注1:ゲマインシャフトとは共同体の意味のドイツ語。地縁、血縁などにより自然発生した社会集団のこと。)

では、なぜ私たちが「結婚」と「ゲマインシャフト」に注目したのかについて説明する。現在就職活動を行う中で「ワークライフバランス」について考える機会がよくある。女性である私たち自身が人生設計を考える際に出てくるキーワードの一つに結婚があげられる。また、昨今の「婚活」ブームにより結婚そのものに対する関心が高まっている印象を受け、ゆえに、私たちは結婚というものに関心を寄せた。そして、婚姻形態や初婚年齢などの結婚にまつわる様々なトピックの中でも、とくに儀式に注目する。結婚式そのものは一連の流れが固定化しているが、披露宴は自由がきくので、披露宴には個人の世界観が反映されるであろうと考え、世界観が披露宴に与える影響を調査することにした。次に、「ゲマインシャフト」に注目した理由を説明する。私たちがウェディング会社へ実際の結婚式や披露宴について聞き取り調査を行った際に、かつては家同士のものであった結婚が、当事者間のものへと移行している傾向にあるというお話を伺った。こうした現象の背景にあるの

は地縁や血族の結びつきが弱まりであると考え、ゲマインシャフト的な世界観の与える影響について調査することにした。

次に、「ゲマインシャフトという世界観の強弱が結婚(特に披露宴)という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」という研究トピックの重要性について述べる。まず、研究そのものの意義について説明する。この研究は「ゲマインシャフト的な世界観」と「結婚という儀式」の間にどの程度の相関関係があるかを調査するものである。社会学

---

などの他の分野では血縁や地縁の結び付きの衰退が結婚を当事者同士のものにしていくと  
言われるように、世界観と経済行動の間には相関関係が当然あるものとして語られている。  
しかし私たちはある世界観と経済行動に本当に相関があるのか、またあるとすればどの程  
度の関係があるのかについてアンケート調査果の統計分析により数値で持って明示する  
という点で世界初の研究といえるだろう。次にトピックそのものの研究の意義について説明  
する。研究結婚式や披露宴といった儀式を通じた日本人の世界観の変化とその背景にある  
日本の経済状況の変化には何らかの関係があると考えられる。例えば結婚式の規模を表す  
ものとして、バブル期には「ハデ婚」、対してバブル崩壊後のいわゆる「失われた10年」  
の時期には「地味婚」といった言葉がある通り結婚式と経済状況の変化に何らかの関係性  
があることが見出せる。結婚式の変化の根底にある世界観の変化と経済状況のその関係  
をみることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、  
提案してゆくことができるのである。

本稿では、以下2節で研究の調査、分析方法について説明する。3節ではアンケートに  
より得られた分析結果を提示する。4節では、「ゲマインシャフトという世界観の強弱が  
結婚（特に披露宴）という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」についての  
考察を行う。最後の5節で、論文全体をまとめる。

## 2. 方法

アンケート対象は、大学生を中心とする未婚の男女とした。これは、婚礼儀式に関する  
設問に答えてもらうにあたり、既婚者は自己の結婚式や披露宴の経験を元にバイアスのか  
かった回答をする可能性があるためである。未婚者を対象とすることで、披露宴に対する  
純粋な意識を測ることが出来る考えた。

またアンケート結果の収集には、紙上アンケートおよびインターネットサイト「アンケー  
トツクレール」(<http://enq-maker.com/>)を利用した。

実際のアンケート項目は以下の通りである。

次の質問で当てはまるものに丸をつけてください

1. あなたは男性ですか女性ですか  
男性・女性
2. 用事があり子供の面倒を見られない時、近所に親が住んでいたら託児所や保育園の延  
長などよりも親を頼ると思う  
完全に当てはまる／どちらかといえば当てはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない

などの他の分野では血縁や地縁の結び付きの衰退が結婚を当事者同士のものにしていくと言われるように、世界観と経済行動の間には相関関係が当然あるものとして語られている。しかし私たちはある世界観と経済行動に本当に相関があるのか、またあるとすればどの程度の関係があるのかについてアンケート調査果の統計分析により数値で持って明示するという点で世界初の研究といえるだろう。次にトピックそのものの研究の意義について説明する。研究結婚式や披露宴といった儀式を通じた日本人の世界観の変化とその背景にある日本の経済状況の変化には何らかの関係があると考えられる。例えば結婚式の規模を表すものとして、バブル期には「ハデ婚」、対してバブル崩壊後のいわゆる‘失われた10年’の時期には「地味婚」といった言葉がある通り結婚式と経済状況の変化に何らかの関係性があることが見出せる。結婚式の変化の根底にある世界観の変化と経済状況のその関係をみることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、提案してゆくことができるのである。

本稿では、以下2節で研究の調査、分析方法について説明する。3節ではアンケートにより得られた分析結果を提示する。4節では、「ゲマインシャフトという世界観の強弱が結婚(特に披露宴)という儀式や形式にどのような与える影響を与えるのか」についての考察を行う。最後の5節で、論文全体をまとめる。

## 2.方法

アンケート対象は、大学生を中心とする未婚の男女とした。これは、婚礼儀式に関する設問に答えてもらうにあたり、既婚者は自己の結婚式や披露宴の経験を元にバイアスのかかった回答をする可能性があるためである。未婚者を対象とすることで、披露宴に対する純粋な意識を測ることが出来ると考えた。

またアンケート結果の収集には、紙上アンケートおよびインターネットサイト「アンケートツクレール」(<http://enq-maker.com/>)を利用した。

実際のアンケート項目は以下の通りである。

次の質問で当てはまるものに丸をつけてください

1.あなたは男性ですか女性ですか

男性・女性

2.用事があり子供の面倒を見られない時、近所に親が住んでいたら託児所や保育園の延長などよりも親を頼ると思う

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない  
/まったく当てはまらない



- 
3. 親（実の親、義理の親）の老後の面倒をみるのは千の荷めだと思う  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
6. 10年以上勤めた会社のライバルに当たる会社から、今よりも給料がよく、それ以外の条件は同じという条件を提示されたら、すぐに転職する  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
7. 郷に入っては郷に従えという考えは正しいと思う  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
8. 町内会や自治会等の集まりがある日には他の千疋を入れないよう心がける  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
9. 長期間家を留守にするときは近所の人に伝える  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
10. 結婚式の日取りは、縁起の良い大安・友引に設定する  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
11. 結婚するなら、結婚指輪は必要だと思う  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
12. 仲人を立てたいと思う  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
13. 親に頼まれた人は、面識が無くても披露宴に招待する  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない
14. 披露宴でキャンドルサービス・ケーキカット・お色直しなどを進行に取り入れたい  
完全にあてはまる／どちらかといえばあてはまる／どちらかといえば当てはまらない  
／まったく当てはまらない

上記のアンケートのうち、1から9がゲマインシャフト的世界観に関する設問、10から14が婚礼儀式に関する設問である。1から9の結果を説明変数、10から14の結果を被説明変数として、プロビット分析によりその相関を調べる。

3.親(実の親、義理の親)の老後の面倒をみるのは子の務めだと思う

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

6.10年以上勤めた会社のライバルに当たる会社から、今よりも給料がよく、それ以外の条件は同じという条件を提示されたら、すぐに転職する

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

7.郷に入っては郷に従えという考えは正しいと思う

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

8.町内会や自治会等の集まりがある日には他の予定を入れないよう心がける

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

9.長期間家を留守にするときは近所の人に伝える

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

10.結婚式の日取りは、縁起の良い大安・友引に設定する

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

11.結婚するなら、結婚指輪は必要だと思う

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

12.仲人を立てたいと思う

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

13.親に頼まれた人は、面識が無くても披露宴に招待する

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない

/まったく当てはまらない

14.披露宴でキャンドルサービス・ケーキカット・お色直しなどを進行に取り入れたい

完全にあてはまる/どちらかといえばあてはまる/どちらかといえば当てはまらない  
/まったく当てはまらない

上記のアンケートのうち、1から9がゲマインシャフト的世界観に関する設問、10から14が婚礼儀式に関する設問である。1から9の結果を説明変数、10から14の結果を被説明変数として、プロビット分析によりその相関を調べる。

### 3. 結果

以下の表において、係数の符号がプラスであるものが想定した関係通りの結果がでた組み合わせ、マイナスであるものが想定した関係とは逆の結果がでた組み合わせである。また、★マークに関しては、★：有意水準10%、★★：有意水準5%、★★★：有意水準1%でそれぞれ説明変数と被説明変数の間に関係がないという仮説を棄却できたものとする。

#### 問10

	プロビット		プロビット重回帰	
	符号	P r	符号	P r
問2	-		-	
問3	+		+	
問6	-		-	
問7	+		+	
問8	+		+	
問9	+		+	

#### 問11

	プロビット		プロビット重回帰	
	符号	P r	符号	P r
問2	-		+	
問3	+		+	
問6	-	★	-	
問7	-		-	
問8	+		+	
問9	+		+	

### 3.結果

以下の表において、係数の符号がプラスであるものが想定した関係通りの結果がでた組み合わせ、マイナスであるものが想定した関係とは逆の結果がでた組み合わせである。また、★マークに関しては、★:有意水準10%、★★:有意水準5%、★★★:有意水準1%でそれぞれ説明変数と被説明変数の間に関係がないという仮説を棄却できたものとする。

問10

プロビット

ト

プロビット重回帰

符号 Pr 符号 Pr

問2 --

問3 ++

問6 --

問7 ++

問8 ++

問9 ++

問11

プロビット

ト

プロビット重回帰

符号 Pr 符号 Pr

問2 - +

問3 ++

問6 - ★ -

問7 --

問8 ++

問9 ++

## 問 1 2

	プロビット ト		プロビット重回帰	
	符号	P r	符号	P r
問 2	+		+	★★
問 3	+		-	
問 6	+		+	
問 7	+		+	★★★
問 8	+		+	★★★
問 9	+		-	

## 問 1 3

	プロビット ト		プロビット重回帰	
	符号	P r	符号	P r
問 2	-		+	
問 3	+		+	
問 6	+		+	
問 7	-		+	★★
問 8	+	★★★	-	★★
問 9	+		+	★★★

## 問 1 4

	プロビット ト		プロビット重回帰	
	符号	P r	符号	P r
問 2	+		+	
問 3	+		+	
問 6	-		+	
問 7	-		+	
問 8	+	★★	+	★★★
問 9	+		-	

問12

プロビット

ト

プロビット重回帰

符号 Pr 符号 Pr

問2 ++ ★★

問3 +-

問6 ++

問7 ++ ★★★

問8 ++ ★★★

問9 +-

問13

プロビット

ト

プロビット重回帰

符号 Pr 符号 Pr

問2 - +

問3 ++

問6 ++

問7 - + ★★★

問8 + ★★★ - ★★★

問9 ++ ★★★

問14

プロビット

ト

プロビット重回帰

符号 Pr 符号 Pr

問2 ++

問3 ++

問6 - +

問7 - +

問8 + ★★ + ★★★

問9 + -



---

#### 4. 考察

問12・問14と問8の相関を例にとって考察する。

問12. 仲人を立てたいと思う

問14. 披露宴でキャンドルサービス・ケーキカット・お色直しなどを進行に取り入れたい

問8. 町内会や自治会等の集まりがある日には他の予定を入れないよう心がける

アンケートの分析から、問8の回答と問12・問14の回答の相関に有意性が見られた。これは町内会や自治会の集まり等の地縁的關係を重要視する回答をした被験者は、仲人や披露宴のキャンドルサービス・ケーキカット・お色直し等、日本における結婚式の慣習的・儀式的な側面を重要視する傾向にあることを示している。

問2. 用事があり子供の面倒を見られない時、近所に親が住んでいたら託児所や保育園の延長などよりも親を頼ると思う

また、問2と問12の間の相関にも有意性が見られることから、血縁を重要視する被験者も日本の慣習的な結婚形態を重要視していると言える。

以上の点から、地縁・血縁を重要視するゲマインシャフトの世界観が強いほど、慣習的・儀式的な結婚・披露宴の形態をとる傾向があることがわかった。

#### 5. 結論

私達は、ゲマインシャフトの世界観と結婚という経済行動の間には何らかの相関関係があるのではないかと考え、未婚者に対するアンケート調査・分析を行った。これは結婚式の変化の根底にある世界観の変化と経済状況のそれとの関係を見ることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、提案してゆくことができるからである。

今回の研究を通じて、私達は地縁・血縁を重要視するゲマインシャフトの世界観が強いほど、慣習的・儀式的な結婚・披露宴の形態をとるという結論を得た。このことから、地味婚・事実婚等の簡略化された結婚形態をとるという経済行動は、地縁や血縁といった日本で古くから脈々と受け継がれてきたつながりや共同体の基盤が弱まっているという現状を表すものであると言える。

#### 4.考察

問12・問14と問8の相関を例にとって考察する。

問12.仲人を立てたいと思う

問14.披露宴でキャンドルサービス・ケーキカット・お色直しなどを進行に取り入れたい

問8.町内会や自治会等の集まりがある日には他の予定を入れないよう心がける

アンケートの分析から、問8の回答と問12・問14の回答の相関に有意性が見られた。

これは町内会や自治会の集まり等の地縁の関係を重要視する回答をした被験者は、仲人や披露宴のキャンドルサービス・ケーキカット・お色直し等、日本における結婚式の慣習的・儀式的な側面を重要視する傾向にあることを示している。

問2.用事があり子供の面倒を見られない時、近所に親が住んでいたなら託児所や保育園の延長などよりも親を頼ると思う

また、問2と問12の間の相関にも有意性が見られることから、血縁を重要視する被験者も日本の慣習的な結婚形態を重要視していると言える。

以上の点から、地縁・血縁を重要視するゲマインシャフトの世界観が強いほど、慣習的・儀式的な結婚・披露宴の形態をとる傾向があることがわかった。

#### 5.結論

私達は、ゲマインシャフトの世界観と結婚という経済行動の間には何らかの相関関係があるのではないかと考え、未婚者に対するアンケート調査・分析を行った。これは結婚式の変化の根底にある世界観の変化と経済状況のそれとの関係をみることで、日々刻々と変化する今日の経済状況に応じた消費行動とその可能性を考え、提案してゆくことができるからである。

今回の研究を通じて、私達は地縁・血縁を重要視するゲマインシャフトの世界観が強いほど、慣習的・儀式的な結婚・披露宴の形態をとるという結論を得た。このことから、地味婚・事実婚等の簡略化された結婚形態をとるという経済行動は、地縁や血縁といった日本で古くから脈々と受け継がれてきたつながりや共同体の基盤が弱まっているという現状を表すものであると言える。

---

過去の日本の共同体社会では地縁や血縁を大事にすることが唯一の絶対的な価値観であるかのような風土があった。「村八分」という言葉が示すように、属する共同体の掟に従わないことは決して許されないことであり社会的忤役を受けることを意味した。その共同体に暮らす者は生命保存のためには共同体の掟を大事にする、ひいては地縁や血縁を大事にすることが暗黙の了解として理解していた。しかし現在はグローバル化が加速度を増して進行しており、価値観の多様化がかつてでは考えられないほどに進んでいる。それぞれの価値観に対して人により好みはあれど、異なる価値観を互いに尊重しあおうというムードがある。今回の調査は大学生を対象としており、若い世代なのでゲマインシャプ的な世界観を持つ者は少ないのだろうと予想していたが、予想に反してゲマインシャプ的な世界観を持つものが少なからずいるという印象をうけた。このように現在、世界観は多様化しており、一元的なものの方見方はもはや通用しないと感じた。

では、これから世界観はより多様化し、人々の経済行動もより多様化する中で、生産者は消費者に対して多様な選択肢を提示することが求められる。実際にウェディング業界では20万円程度という破格の予算で挙げられる結婚式が提案されている。日本国内の経済の復活のカギは多様な世界観に応じた多様なニーズにこたえることだと考えられる。また、少子高齢化が進む中で高齢者の世界観、概してゲマインシャプ度の強い世界観を考慮することは決して忘れてはならないだろう。

今後の研究課題としてはアンケート対象者を変えて、日本全体でみたときにゲマインシャプ的な世界観が結婚という儀式に影響を与えている（もしくは与えていた）のか、を調査することである。

過去の日本の共同体社会では地縁や血縁を大事にすることが唯一の絶対的な価値観であるかのような風土があった。「村八分」という言葉が示すように、属する共同体の掟に従わないことは決して許されないことであり社会的抹殺を受けることを意味した。その共同体に暮らす者は生命保存のためには共同体の掟を大事にする、ひいては地縁や血縁を大事にすることが暗黙の了解として理解していた。しかし現在はグローバル化が加速度を増して進行しており、価値観の多様化がかつてでは考えられないほどに進んでいる。それぞれの価値観に対して人により好みはあれど、異なる価値観を互いに尊重しあおうというムードがある。今回の調査は大学生を対象としており、若い世代なのでゲメインシャフト的な世界観を持つ者は少ないのだろうと予想していたが、予想に反してゲメインシャフト的な世界観を持つものが少なからずいるという印象をうけた。このように現在、世界観は多様化しており、一元的なものの見方はもはや通用しないと感じた。

では、これから世界観はより多様化し、人々の経済行動もより多様化する中で、生産者は消費者に対して多様な選択肢を提示することが求められる。実際にウェディング業界では20万円程度という破格の予算で挙げられる結婚式が提案されている。日本国内の経済の復活のカギは多様な世界観に応じた多様なニーズにこたえることだと考えられる。また、少子高齢化が進む中で高齢者の世界観、概してゲメインシャフト度の強い世界観を考慮することは決して忘れてはならないだろう。

今後の研究課題としてはアンケート対象者を変えて、日本全体でみたときにゲメインシャフト的な世界観が結婚という儀式に影響を与えている(もしくは与えていた)のか、を調査することである。